

2024年12月13日、支社会議室において「2025年3月のダイヤ改正」の概要について業務委員会を開催しました。参加者は、渡邊副委員長、下茂副委員長、梶田運輸担当部長、今田運輸担当部長、田川運輸担当部長。会社側は、熊谷人事課課長代理、三浦運輸課課長代理、紫牟田車両課課長、川村人事課係長でした。

## 「2025年3月のダイヤ改正概要」

### 2025年3月ダイヤ改正について

令和6年12月13日

#### I. 改正要旨

東海道新幹線は、管内の臨時「のぞみ」の増設に加え、山陽新幹線へ直通する臨時「のぞみ」も増設するほか、「のぞみ」の普通車指定席拡大等を実施し、さらに利便性を向上させる。

改正日は、2025年3月15日（土）

#### II. 施策項目

- (1) 6時台の首都圏発の「のぞみ」を最大14本運転（6時台の下り臨時「のぞみ」を1本増設）

6時台に、東京発新大阪行の臨時「のぞみ」を1本増設し、6時台の首都圏発の「のぞみ」の運転本数を最大14本とする。大阪・関西万博の開催期間の週末等、首都圏から関西方面へのご利用が多い日に運転する。

- (2) 最終列車の時間帯に東京発新大阪行の臨時「のぞみ」を増設

最終列車の時間帯に、東京発新大阪行の臨時「のぞみ」を1本増設する。下りの最終時間帯のご利用が多い日に運転する。

- (3) 山陽新幹線へ直通する臨時「のぞみ」を増設

ご利用が多い時間帯に山陽新幹線へ直通する臨時「のぞみ」を1時間あたり1本増やし、定期「のぞみ」を含め最大8本運転とする。

- (4) 山陽新幹線へ直通する東京発博多行最終臨時「のぞみ」を増設

東京19時00分発の新大阪行定期「のぞみ」を、山陽方面へのご利用が多い日には博多行臨時「のぞみ」として運転する。

- (5) 「のぞみ」の普通車指定席を拡大

多くのお客様に予め座席を確保して安心してご利用いただけるよう、東海道・山陽新幹線で運行する全ての「のぞみ」の3号車を指定席とする。

- (6) 新幹線車内のトイレの約半数を女性専用化

東海道・山陽新幹線で使用している16両編成車両すべての車内共用トイレの約半数を女性専用とする。

#### III. 具体的内容

**(1) 6時台の首都圏発の「のぞみ」を最大14本運転（6時台の下り臨時「のぞみ」を1本増設）**

お客様のご利用が多い早朝時間帯により多くの座席を提供できるよう、東京発新大阪行の臨時「のぞみ」を6時台に1本増設し、ご利用が多く見込まれる日に運転する。これにより、品川始発「のぞみ99号」および新横浜始発「のぞみ497号」を加え、6時台の首都圏発の「のぞみ」は最大で14本運転する。

**(2) 最終列車の時間帯に東京発新大阪行の臨時「のぞみ」を増設**

最終列車の時間帯に増設する東京発新大阪行の臨時「のぞみ」は、現行の最終定期「のぞみ」の6分後、東京21時30分発とする。

これにより、首都圏から関西方面へ新幹線をご利用されるお客様は、首都圏でより長くお過ごしいただけるようになる。

**(3) 山陽新幹線へ直通する臨時「のぞみ」を増設**

山陽方面へのご利用が多い下り東京発7・8時台の54分発と上り東京着18・19時台の21分着に、山陽新幹線へ直通する臨時「のぞみ」を1時間あたり1本増やし、定期「のぞみ」を含めた最大運転本数を7本から8本へ増やす。

**(4) 山陽新幹線へ直通する東京発博多行最終臨時「のぞみ」を増設**

東京19時00分発の新大阪行定期「のぞみ」を、山陽方面へのご利用が多い日には博多行臨時「のぞみ」として運転する。これにより、東京発博多行の最終「のぞみ」は9分繰り下がり、首都圏から山陽方面へ新幹線をご利用されるお客様は、首都圏でより長くお過ごしいただけるようになる。

**(5) 「のぞみ」の普通車指定席を拡大**

多くのお客様に予め座席を確保して安心してご利用いただけるよう、東海道・山陽新幹線で運行する全ての「のぞみ」の3号車を、自由席から指定席に変更する。これにより、1列車あたりの普通車指定席が85席増加する。

**(6) 新幹線車内のトイレの約半数を女性専用化**

2024年12月以降、東海道・山陽新幹線で使用している16両編成車両の奇数号車に配置している2箇所の車内共用トイレのうち1箇所を女性専用とする。（ただし11号車を除く）

2024年12月以降順次供用を始め、2025年3月15日のダイヤ改正以降、全ての16両編成車両の車内共用トイレの約半数が女性専用となる。

以上